



## 令和2年度予算要望について

令和元年8月27日、自由民主党農林食料戦略調査会・農林部会・農政推進協議会合同会議が開催されました。農林水産省より令和2年度農林水産関係予算概算要求、税制改正要望等について聴取のうえ議論するとともに、農政推進協議会加盟団体からの予算概算要求等に対する要望聴取が行われました。本協会からは下記の要望書を提出しました。

(要望書)

令和元年8月27日

自由民主党農林食料戦略調査会・  
農林部会・  
農政推進協議会合同会議会長 殿

### 令和2年度予算についての要請

一般社団法人 日本養鶏協会  
会長 齋藤 利明

我が国の養鶏産業の振興につきましては、日頃より格別のご支援、ご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

卵価については、昨今、需給が緩和する中で、一昨年末より下落が始まり、本年1月には15年ぶりに100円まで下がるなど、低水準で推移しております。一方で生産資材の高止まり、環境問題への配慮、人手不足等によるコスト高は継続し、鶏卵生産者の経営は厳しい状況にあります。

つきましては、令和2年度予算の概算要求に当たりましては、以下の点について特段のご配慮をお願いします。

1. 鶏卵生産者経営安定対策事業について、鶏卵の需給の安定を図るため、成鶏更新・空舎延長事業に力点を置いた見直しを実施すること  
その際、中小規模生産者に配慮すること  
また、事業の安定性を確保するため、鶏卵生産者経営安定対策事業の基金化を図ること
2. 畜産クラスター事業等競争力強化に係る事業において、鶏卵の需給に配慮し、増羽を抑制しつつ、引き続き、中小規模生産者にも使い勝手がよい事業とすること



## 令和 2 年度農林水産予算概算要求について

8 月 31 日、農林水産省より、令和 2 年度農林水産予算概算要求の概要が公表されました。当協会関係事業の概要については以下の通りです。

なお、令和 2 年度農林水産予算概算要求については、今後、財務省において査定がなされ、例年では 12 月末に概算決定が行われています。

### 1. 鶏卵生産者経営安定対策事業

鶏卵の取引価格が補填基準価格を下回った場合に経営規模にかかわらず差額の 9 割を補填するとともに、取引価格が安定基準価格を下回った場合には、長期の空舎期間を設けて需給改善を図る取組に対する奨励金を交付する「鶏卵生産者経営安定対策事業」については、前年度予算の 6 億円増で 55 億円の要求となっています。

### 2. 鶏卵・採卵鶏需給改善支援

鶏卵の需要に応じた生産・供給の取組を推進するため、鶏卵の生産者、卸売業者、加工業者等による鶏卵の需給見通しの作成への取組や、国内外の粉卵、成鶏肉の需要を創出するため、国産粉卵、成鶏肉を活用した新商品開発に係る技術開発、機械整備等を支援する「鶏卵・採卵鶏需給改善支援」については今回新規で 5 億円の要求となっています。

### 3. 農林水産業の輸出関係事業

輸出関係予算では、農林水産業の輸出力強化を支援するため、前年度予算額より 183 億円増の 248 億円の要求となっております。このうち、海外における日本産農林水産物・食品の輸出促進活動等を支援する「海外需要創出等支援対策事業」は 17 億円増の 51 億円の要求となっております。またグローバル産地形成を支援する「グローバル産地づくり推進事業」は 14 億円増の 16 億円の要求となっております。

## 協会活動報告

青字下線部クリックで、(一社)日本養鶏協会ホームページ内該当事業のページが開きます

### [鶏卵生産者経営安定対策事業](#)

① [価格差補填事業の事業参加者との契約数量 \(トン/月当たり\)](#)

平成 28 年度	164,846
平成 29 年度	162,353
平成 30 年度	169,171
令和 元 年度	167,141

② [8 月の標準取引価格 156.42 円/kg](#)

平成 3 1 年度補填基準価格 185 円/kg  
平成 3 1 年度安定基準価格 163 円/kg

## 親子オムライス教室イベントを実施しました

2019年8月6日(火)10:00より 於:ホームメイドクッキング 有楽町教室

(東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビルB1F)

本イベントも4年目となり、今後は道府県開催イベントへの移行を図る方針のもと、今回は道府県協会の担当者をお呼びし実施しました。東京での開催ということで、参加いただくご家族も従来より多く募集しました。

当日は、9組18名のご家族にご参加いただきました。開始予定時刻は10:30でしたが、皆様早々に勢揃いしたため、10時過ぎにはイベントを開始しました。



まずは友加里さんの実演

上手に包丁・フライパンをさばく安定感のある子供さんもいれば、お母さんに頼りっきりというチームも。

例年講師をお願いしている友加里さんの進行のもと、「オムライス」・「エッグタルト」・「たまごスープ」の調理実演の後、各テーブルにて子供さんを中心に料理体験スタート。



美味しく完成できるでしょうか

料理完成後は、それぞれの完成品を美味しく試食。彦坂委員長(国産鶏卵に関する普及啓発問題検討委員会)のお礼のあいさつの後、参加者で記念写真を撮りイベント終了となりました。県協会からは5名のご出席をいただきました。ありがとうございました。



最後に記念写真



称賛を集めた作品

## 食料自給率 …… 農林水産省 食料需給表より

令和元年 8月 7日、農林水産省から食料需給表（平成 30 年度：概算値）が公表されました。（<http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/fbs/>）

鶏卵の調査結果につき概要をご紹介します。（以下、出典は同表に加え農林水産省「鶏卵流通統計調査」）

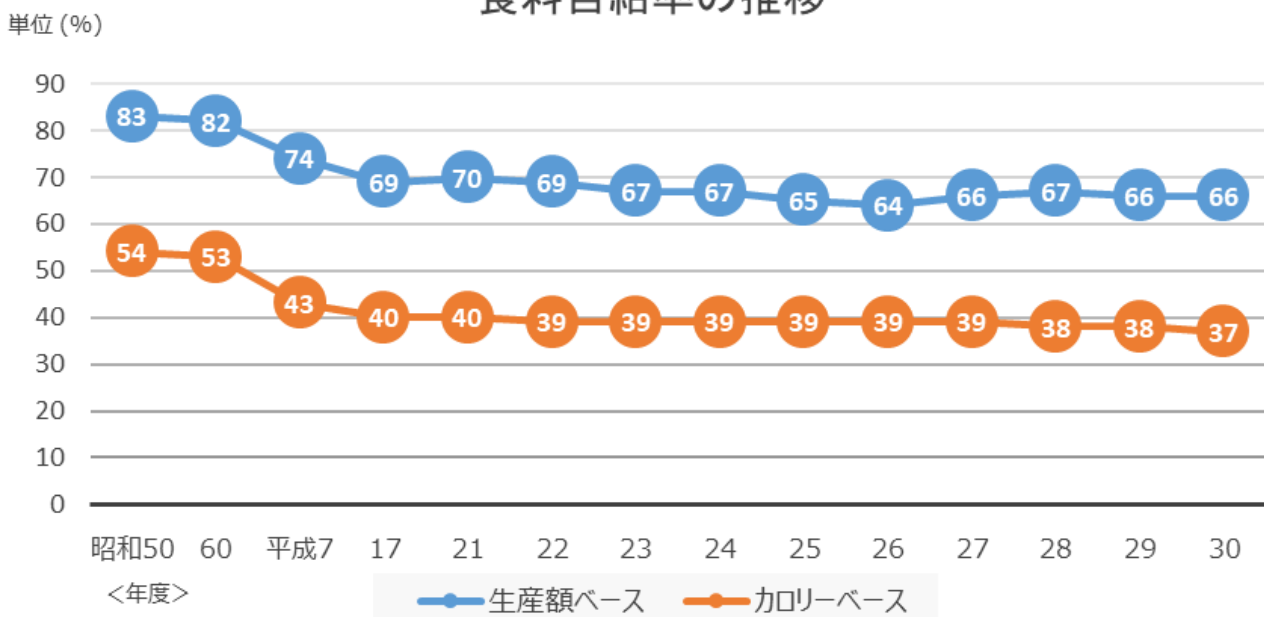
### 1. 食料自給率

生産額ベース食料自給率については、平成 30 年度において、野菜や鶏卵等の単価下落により国内生産額が減少したものの、魚介類の輸出増加等により国内消費仕向額も減少したことから、前年同率の 66% となりました。

カロリーベース食料自給率については、平成 30 年度において、米の消費が減少する中、主食用米の国内生産量が前年並みとなった一方、天候不順で小麦、大豆の国内生産量が大きく減少したこと等により、37% となりました。

我が国の食料自給率は、自給率の高い米の消費が減少し、飼料や原料を海外に依存している畜産物や油脂類の消費量が増えてきたことから、長期的に低下傾向で推移しています。カロリーベースでは近年横ばいで推移してきましたが、小麦、大豆の落ち込みが今回、数字を押し下げました。

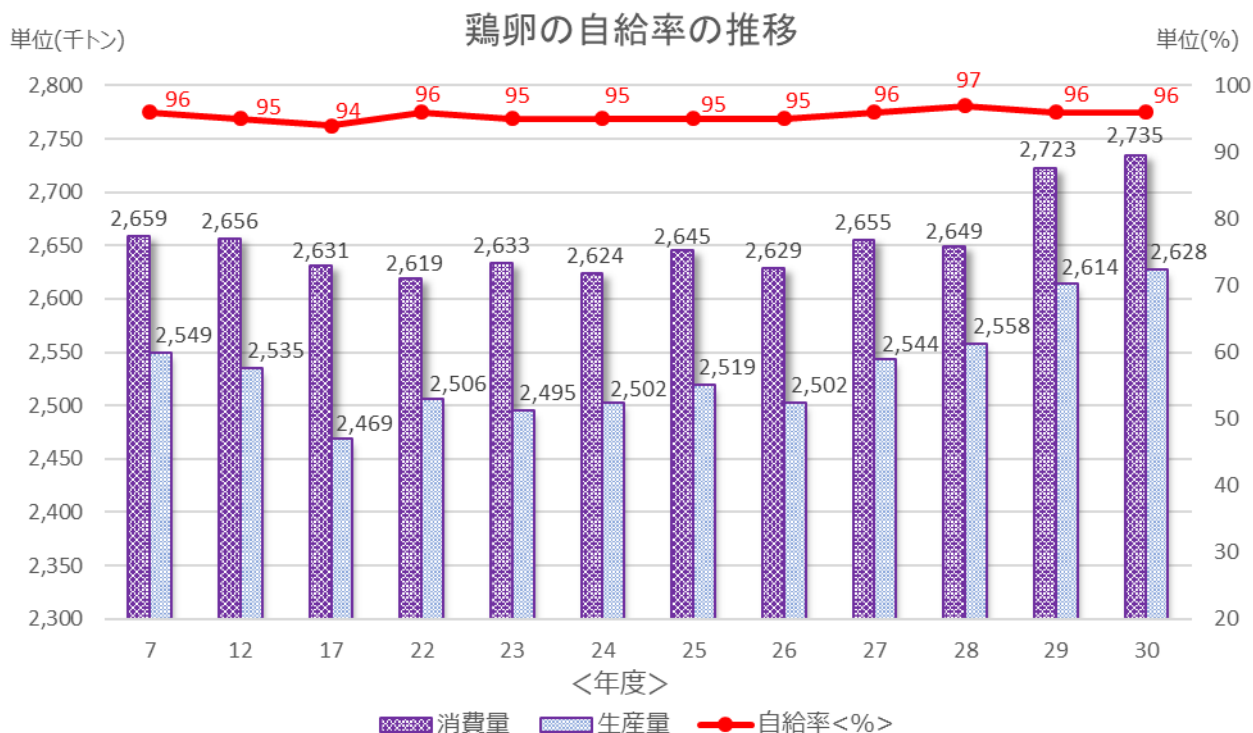
### 食料自給率の推移



## 2. 鶏卵の生産量および供給量

鶏卵の国内生産量は、前年度に比べ0.2%増の2,628千トン、消費仕向量は輸入量及び国内生産量の増加により0.4%増の2,735千トンとなっています。

また、鶏卵の自給率は、前年度同率の96%であり、長年にわたり高い自給率を維持しながら推移しています。



## 3. 鶏卵の都道府県別生産量

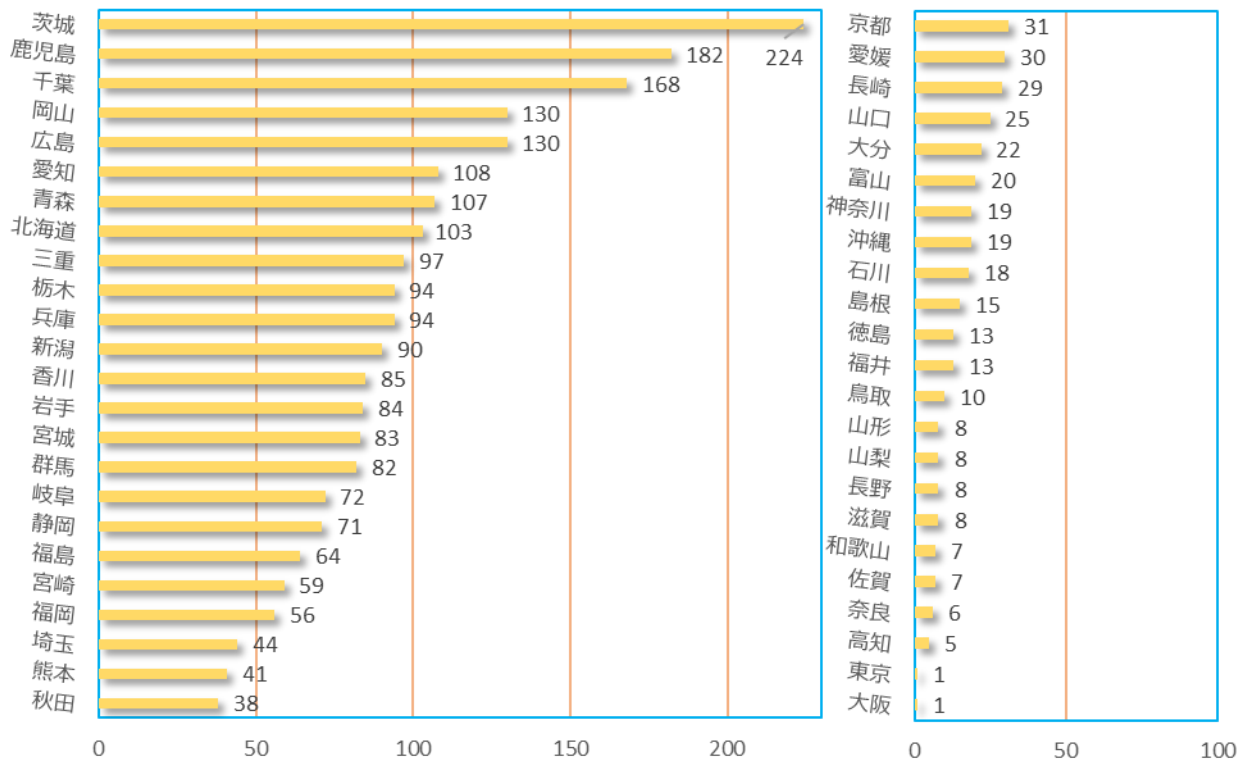
平成30年の鶏卵生産量を都道府県別にみると、茨城県が224千トン（構成比8.5%）と最も多く、2位鹿児島県182千トン、3位千葉県168千トン、4位岡山県130千トン、5位広島県130千トンの順になっており、上位5県の順位に変動はなく、生産量の約1/3を占めています。また、上位10道県の生産量は51%と半数を超えています。





# 日鶏協ニュース

令和元年 9月号  
一般社団法人 日本養鶏協会



## 鶏卵公正取引協議会からのお知らせ

### 鶏卵の表示で留意するポイント その3

#### 栄養強化等の栄養に関する表示を行う場合

栄養表示は必須ではありませんが、事業者が表示したい場合、公正競争規約、食品表示基準に沿って表示する必要があります。

公正競争規約によって、栄養強化卵を表示する場合についてご紹介します。

栄養強化卵とは、①鶏卵の栄養成分の量を増加させる目的で②鶏の飼料に栄養成分等を加えること等により③可食部分（卵黄及び卵白）について、次の基準を満たす鶏卵を言います。

食品表示基準別表 12 の栄養成分については、100 g 当たりの量が、通常の鶏卵（栄養成分が増減されていない鶏卵）の栄養成分（※）に比べて同表の基準値以上増加されていることが必要になります。

※最新の日本食品標準成分表（現在は7訂、2015年版）に記載されている数値とします。

ただし、この表示を行う場合は、定期的な成分分析により、栄養成分の量が検証されているものに限ります。

また、表示を行った根拠になる資料等については、その根拠等を証明するため、鶏卵を出荷した日から1年間保管してください。

食品表示基準別表 12 の栄養成分と満たすべき基準値は次の通りです。



## 栄養強化卵(食品表示基準別表12掲出の栄養成分)

栄養成分	増加量 (100g 当たり)	通常の 鶏卵	単位
たんぱく質	8.1	12.3	g
食物繊維	3	0	g
亜鉛	0.88	1.3	mg
カリウム	280	130	mg
カルシウム	68	51	mg
鉄	0.68	1.8	mg
銅	0.09	0.08	mg
マグネシウム	32	11	mg
ナイアシン	1.3	0.1	mg
パントテン酸	0.48	1.45	mg
ビオチン	5	25.4	μg
ビタミンA	77	140	μg
ビタミンB <sup>1</sup>	0.12	0.06	mg
ビタミンB <sup>2</sup>	0.14	0.43	mg
ビタミンB <sup>6</sup>	0.13	0.08	mg
ビタミンB12	0.24	0.9	μg
ビタミンC	10	0	mg
ビタミンD	0.55	1.8	μg
ビタミンE	0.63	1.0	mg
ビタミンK	15	13	μg
葉酸	24	43	μg

(通常の鶏卵は日本食品標準成分表2015の数値)

上記に含まれない栄養成分(特定要素を含む)は同じように次表の基準値以上増加されていることが必要です。この場合の通常の鶏卵の栄養成分は、最新の日本食品脂溶性成分表の数値とします。

## 栄養強化卵(食品表示基準別表12不掲出の栄養成分)

栄養成分 (特定要素含む)	増加量 (100g 当たり)	通常の 鶏卵	単位
ヨウ素	240	17	μg
ドコサヘキサエン酸(DHA)	60	120	mg
α-リノレン酸	22	43	mg

(通常の鶏卵は日本食品標準成分表2015の脂肪酸成分表より)



また、鶏卵の栄養成分の多寡（高、豊富、含む、たっぷり、ゼロ、低、減等）を表示する場合は、食品表示基準に従い表示しなければなりません。

加えて、食品表示基準の対象外の成分について、成分量の多寡を強調して表示する場合は、その成分名と成分量を明記し、一般消費者が比較しやすいように通常の鶏卵の成分量と対比して表示しなければなりません。

### 栄養成分の補給ができる旨の表示の基準値

栄養成分	食品100g当たり栄養成分量			
	強化された旨の表示基準	高い旨の表示基準	含む旨の表示基準	単位
たんぱく質	8.1	16.2	8.1	g
食物繊維	3	6	3	g
亜鉛	0.88	2.64	1.32	mg
カリウム	280	840	420	mg
カルシウム	68	204	102	mg
鉄	0.68	2.04	1.02	mg
銅	0.09	0.27	0.14	mg
マグネシウム	32	96	48	mg
ナイアシン	1.3	3.9	1.95	mg
パントテン酸	0.48	1.44	0.72	mg
ビオチン	5	15	7.5	μg
ビタミンA	77	231	116	μg
ビタミンB <sup>1</sup>	0.12	0.36	0.18	mg
ビタミンB <sup>2</sup>	0.14	0.42	0.21	mg
ビタミンB <sup>6</sup>	0.13	0.39	0.20	mg
ビタミンB12	0.24	0.72	0.36	μg
ビタミンC	10	30	15	mg
ビタミンD	0.55	1.65	0.83	μg
ビタミンE	0.63	1.89	0.95	mg
ビタミンK	15	45	22.5	μg
葉酸	24	72	36	μg
表記のしかた	強化、増、アップ、プラスなど	高、多、たっぷり、豊富など	含有、入、使用、添加など	

(食品表示基準 別表12より)





## 表示の仕方

- ① 栄養強化卵の基準を満たす栄養成分が明瞭となるように、増減又は付加された栄養成分名及び可食部分 100g 当たりの成分量を明記し
- ② 一般消費者が比較しやすいように通常の鶏卵の当該成分表と対比して表示する
- ③ 通常の鶏卵に含まれていない栄養成分については、当該栄養成分の可食部分 100g 当たりの含有量の単位を明記して記載し、通常の鶏卵に含まれない栄養成分である旨を併記する。

## 表示例（ビタミンEを栄養強化した場合）


### 栄養成分表示

可食部100g当たり	
熱量	151kcal
たんぱく質	12.3g
脂質	10.3g
炭水化物	0.3g
ナトリウム (食塩相当量)	0.4g
ビタミンE	7.0mg

(ビタミンE 普通卵 1.0mg)

- ① 食品単位は、可食部 100g 中または可食部 60g 中等単位を明記する。
- ② この様式の中の栄養成分及び熱量の順を変更することはできない。
- ③ ナトリウムは、ナトリウム（食塩相当量）または食塩相当量と記載する。
- ④ この様式の枠を表示することが困難な場合は、枠を省略することができる。
- ⑤ 横書き等別様式で見やすく一括して表示することもできる。
- ⑥ 表示に用いる文字及び枠の色は背景と対照的な色で表示し、文字は8ポイント以上の活字で表示する。表示可能面積が概ね 150 cm<sup>2</sup>以下の場合には 5.5 ポイント以上の活字で表示することができる。

この他にも、食品表示基準では、「栄養機能食品表示」「機能性表示食品」「合理的推定による表示」等があり、表示する場合は、適切な表示を行うために、事前に記載内容について保健所等と相談することも重要だと考えられます。

鶏卵公正取引協議会 事務局		担当：重本、田淵、大塚
e-mail	<a href="mailto:teritama@jpa.or.jp">teritama@jpa.or.jp</a>	会員証紙 (公正マーク) 
Tel	03-3297-5516	
Web	<a href="https://www.jpa.or.jp/keiran_root/">https://www.jpa.or.jp/keiran_root/</a>	

## 令和元年度「鶏卵規格取引要綱」（農林水産省規格）による 割卵検査を実施しました

中央鶏卵規格取引協議会は、毎年夏に農林水産省規格パック詰鶏卵の購入調査を実施していますが、令和元年度は8月2日（金）に実施しました。



当日は協議会構成組織（全農、日鶏連、中畜、日卵協、日鶏協、鶏卵公取協）から総勢 18 名が参加し、各組織がスーパー等で購入した農林水産規格Mサイズ 550 個、Lサイズ 710 個の調査を行いました。検査の具体的内容としては、マルチテスターなどによる卵重・ハウユニット計測、血斑・肉斑・ヒビ・汚れの有無、卵殻強度・卵殻厚、表示が適正か等のデータ収集を行いました。毎年、卵重規格を外れるものが約 1 割程度あることが確認されており、今年度の調査結果につきましては、まとも次第ご紹介いたします。

中央鶏卵規格取引協議会 事務局		担当：重本、田淵、大塚
e-mail	<a href="mailto:teritama@jpa.or.jp">teritama@jpa.or.jp</a>	
Tel	03-3297-5516	

## 飼料添加物「テトラサイクリン系物質」の指定取消しについて

農林水産省よりお知らせです。我が国では平成 28 年 4 月に「薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン」が策定されましたが、農林水産省では薬剤耐性対策の一環として抗菌剤であるテトラサイクリン系物質の飼料添加物としての指定を取消し、本年 12 月 27 日より使用禁止とする予定です。

よって 12 月 27 日以降は「テトラサイクリン系物質添加飼料」を家畜に給与できないため、12 月 26 日までに在庫を解消しておく必要がありますのでご注意ください。

詳細につきましては、添付の別紙をご参照ください。

参考 飼料の安全関係

<http://www.maff.go.jp/j/syoutan/tikusui/siryu/>

薬剤耐性対策について

<http://www.maff.go.jp/j/syoutan/tikusui/yakuzi/koukinzai.html>

## 第3回 飼料用米活用畜産物ブランド日本一コンテスト 開催のお知らせ

本年も「飼料用米活用畜産物ブランド日本一コンテスト」が、(一社)日本養鶏協会にて開催されます。

例年、畜産物を提供する畜産事業者等の取組みが審査対象とされてきましたが、今回より審査員特別賞が設置され、学校等の農業関連施設の取組みも対象となりました。

実施要領 (<http://okome-sodachi.jp/pdf/2019youk.pdf>)、  
参加申込書 (<http://okome-sodachi.jp/pdf/2019sanka.pdf>) 等をご参照のうえ、奮ってご参加ください。

### 過去のコンテスト結果

<b>第1回 コンテスト結果</b>	<b>農林水産大臣賞</b> 株式会社平田牧場 (養豚)
<b>公益社団法人 中央畜産会会長賞</b> 株式会社大里畜産 (養豚)	<b>全国農業協同組合 中央会会長賞</b> 農業生産法人 有限会社 キロサ内畜産センター(肉牛)
<b>農林水産省 政策統括官賞</b> 有限会社鈴木養鶏場 (養鶏)	
<b>第2回 コンテスト結果</b>	<b>農林水産大臣賞</b> ポークブランドグループ (養豚)
<b>農林水産省 政策統括官賞</b> 株式会社木村牧場 (養豚)	<b>全国農業協同組合 中央会会長賞</b> 石井養鶏農業協同組合 (肉用鶏)
<b>公益社団法人 中央畜産会会長賞</b> 農業組合法人 会田共同養鶏組合 (採卵鶏)	

第1回 飼料用米活用畜産物ブランド日本一コンテスト

**農林水産省 政策統括官賞**

受賞 (ブランド名) 豊の米卵

有限会社 鈴木養鶏場 (大分県)

**【会社概要】**

- ・有限会社鈴木養鶏場(養鶏)(大分県速見郡日出町)
- ・施設 成鶏舎9棟、産卵舎1棟、中大鶏舎3棟、すずらん食品室、食品衛生検査室
- ・飼養 成鶏 12万7千羽 雛 5万羽
- ・事業 鶏卵の生産・加工・販売のほか、惣菜・菓子販売、有機肥料生産及び販売などで6次産業化を実現
- ・ブランド開始 平成19年～
- ・「豊の米卵(とよのこめたまご)」
- ・経営理念:人と鶏と環境にやさしい卵づくり

**【受賞者の米活用畜産物ブランド化の取組】**

全ての鶏に国産飼料用米を給付加価値なブランド化の取組を8割以上となり、収益性の高い

**【高付加価値化への取組】**

- ・全ての鶏の飼料に安心・安全な飼料用米の活用を増加
- ・飼料には非遺伝子組み換えの成鶏舎9棟のうち6棟をアニマルに変更し、今後、全球で飼養
- ・「豊香」「大穂」のブランド名を産卵比率を高める。

**【飼料用米の活用で田んぼの】**

- ・28年度の飼料用米は1,300t、用し、年産飼料総量の1/3を畜産飼料用米の給付割合は17%
- ・国産飼料用米は、全農業者と畜産・鶏舎のほぼすべてにあたる1.2C買値価値や地産への環境に配慮
- ・「食品衛生検査室」を完備し、飼養の有無を検査、自家産卵で

**【ブランド商品紹介】**

- ・卵味分析では、一般的な鶏卵と比べると、コレステロールが低く、ビタミンEなどが多く含まれている。アニマルウェルフェア鶏舎で育て「大穂」・「豊香」など、ヘルシオ化を進め、多彩な産卵アイを増加させている。

第2回 飼料用米活用畜産物ブランド日本一コンテスト

**公益社団法人中央畜産会 会長賞**

受賞 (ブランド名) あいだの米たまご (酵素飼育米たまご、my米たまご)

農事組合法人 会田共同養鶏組合 (長野県)

**【会社概要】**

- ・名称:農事組合法人会田共同養鶏組合(長野県松本市会田)
- ・飼養羽数:年間16万2000羽
- ・米ブランド開始:平成23年～
- ・ブランド名:「あいだの米たまご」「my米たまご」(「酵素飼育米たまご」「my米たまご」)

**【受賞者の米活用畜産物ブランド化の取組】**

平成20年から協議会を設け消費者と一体となって飼料用米の利用を研究。現在は全ての鶏に飼料用米を給与しており、年間使用量は約2000トン。飼料用米の給与率は20%～30%(玄米含む)で、栄養価の高い美味しいう卵を生産している。おもな販売先は生協、有機農産物等の宅配ユーザーなどで安定的な生産・販売を行っており、販売量、販売額ともに拡大している。

**【高付加価値化の取組】**

- ・全ての鶏に飼料用米(長野県、岐阜県、三重県産)を20～30%(玄米含む)使用した自社配合飼料を給与。
- ・農場HACCP認証を取得、衛生管理を徹底。
- ・生活クラブ生協と連携して「my米たまご」を販売。生活クラブ生協の場合、Non-GMOの使用や抗生物質・抗菌剤の不使用、こうした情報の開示など飼料に関するだけでなく、採卵鶏の飼育も両者で協議を行っており、実需者と連携したプライベートブランドとしての差別化を図っている。
- ・なお、「米」とはネーミングされていないが、「平飼たまご」も飼料用米を使用しており、平飼飼育を30年前より研究。アニマルウェルフェア飼育を14鶏舎で実践しており、現在6万3000羽にまで成長。

**【耕畜連携の取組】**

- ・鶏舎で発生した鶏糞は学校給食で出た食物残さなどとともに市営の有機センターで堆肥化。堆肥を飼料用米生産者に無償で提供(10アール当たり450kg)し、循環型農業を実践している。

**【あいだの米たまごの特長】**

- ・一般的なたまご比べ、オレイン酸やビタミンE、DHAが豊富。
- ・お米を身とするにより黄身の色が白くなるのを調整するため、ファシア酵母を使用。このため、抗酸化力のあるアスタキサンチン値もアップ。
- ・消費者からは、食味がさらさらとしていて白身がしっかりしており、シフォンケーキなどのお菓子に最適という評価を得ている。



## 第3回 飼料用米活用畜産物ブランド 日本一コンテストを開催!!



**募集中!**

令和元年7月22日  
～10月31日

飼料用米を活用した畜産物のブランド化による販売力向上等の取組を実践している畜産事業者等を表彰し、広く紹介するため「飼料用米活用畜産物ブランド日本一コンテスト」を開催します。

### 応募について

- 飼料用米を活用した畜産物をブランド化し販売している畜産事業者等
  - 飼料用米の給餌割合が一定以上であること等
- (詳しくはホームページ掲載の応募用紙を参照して下さい)

### 開催スケジュール

- 応募期間 令和元年7月22日～10月31日
- 審査委員会 令和2年1月下旬予定
- 表彰式 令和2年3月18日(東京都内)

### 褒賞

- 農林水産大臣賞
- 政策統括官賞
- 全国農業協同組合中央会会長賞
- 公益社団法人中央畜産会会長賞



昨年の表彰式

### 応募先及びお問い合わせ先

主催：一般社団法人日本養豚協会 (担当：櫻井・塩田)  
住所：〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-27-15 高栄ビル2階  
連絡先：TEL 03 (3370) 5473 FAX 03 (3370) 7937  
メール：sshioda@pig-pins.com (問い合わせ先等)  
後援：農林水産省・全国農業協同組合中央会・公益社団法人中央畜産会  
HP：飼料用米活用畜産物ブランド日本一コンテスト  
<http://okome-sodachi.jp/index.html>



農林水産省補助事業 令和元年度米活用畜産物等全国展開事業



# 日鶏協ニュース

令和元年 9 月号  
一般社団法人 日本養鶏協会

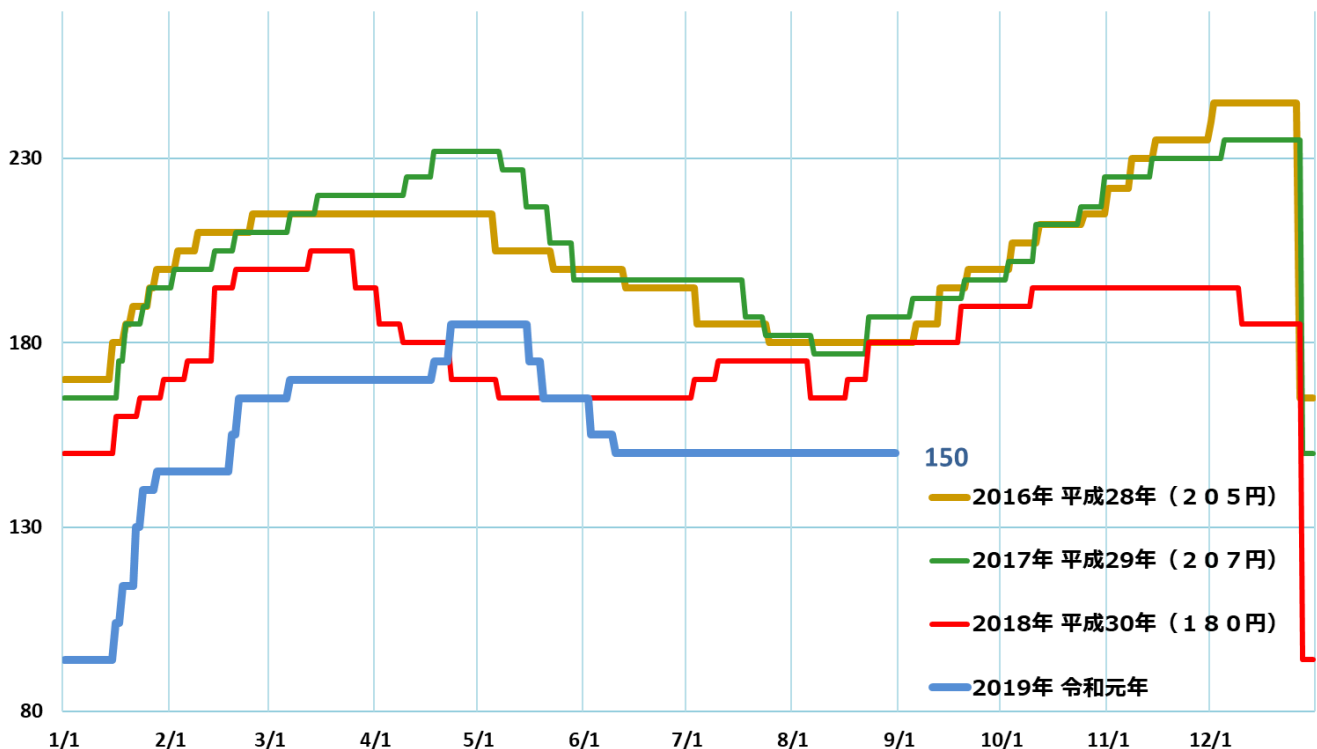
## 統計データ

### 【鶏卵相場動向】 過去 10 年間の 8 月相場<東京全農Mサイズ>

	平均値	高値	安値
平成22年	166	198	154
平成23年	167	193	159
平成24年	157	181	149
平成25年	175	213	162
平成26年	192	228	179
平成27年	219	253	204
平成28年	180	198	174
平成29年	182	205	171
平成30年	172	198	159
令和元年	150	168	144
平均値	176	204	166

令和元年 8 月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）は、先月に引き続き、平均値（150 円）、高値（168 円）、安値（144 円）ともに、過去 10 年間で最低の相場となっています。

### 【鶏卵相場推移 2016 年～2019 年 東京全農Mサイズ 円/ kg】



卵価は 6 月 10 日から 150 円をつけたまま、今月末まで推移しています。  
成鶏更新未だ継続中であり、今後の動向につき注視が必要です。



## 【鶏卵関係主要計数】令和元年6月までの1年間の主要計数推移

注：雛餌付羽数は全国推定値

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
			成 鶏 用		一人当たり		東京全農M	
	数量(千羽)	前年比	数量(千トン)	前年比	数量(グラム)	前年比	前年	本年
7月	9,902	111.4%	446	98.0%	844	97.4%	191	173
8月	8,723	104.6%	488	99.9%	853	100.5%	182	172
9月	8,897	98.7%	451	97.2%	882	102.8%	194	184
10月	9,972	108.1%	508	104.2%	913	100.4%	211	194
11月	9,690	101.8%	502	101.6%	901	100.2%	228	195
12月	8,709	95.9%	533	99.6%	934	99.8%	234	188
31年 1月	9,706	103.4%	490	102.4%	881	99.1%	159	121
2月	8,293	91.8%	464	100.6%	827	96.0%	189	152
3月	8,996	90.5%	494	95.6%	914	102.0%	201	169
4月	9,227	97.1%	503	106.2%	900	101.7%	179	174
元年 5月	9,363	93.3%	498	100.2%	901	93.4%	165	173
6月	8,292	89.5%	457	95.4%	919	101.2%	165	151
1年間合計平均(%)	109,770	98.8%	5,834	100.1%	10,669	99.5%	192(平均)	171(平均)

- ・雛餌付羽数は、8,292千羽（前年比89.5%）と前年比10.5%減であり5ヵ月連続で前年比を下回っています。
- ・配合飼料出荷量も、457千トン（前年比95.4%）と前年比4.6%減となりました。
- ・鶏卵の家計消費量は、919グラム（前年比101.2%）と前年比1.2%です。
- ・雛餌付羽数、配合飼料出荷量とも前年比減となり、家計消費量が上昇したのは好材料といえます。

## 消費税小冊子の頒布、まだ受付中です

日鶏協会員のみなさまには、7月の会費請求書とともにご案内を送付いたしましたが、消費税転嫁絡みのトラブルシューティングについての小冊子「消費税の円滑かつ適正な転嫁のために」、45部ほど残部がございます。ご希望のかたは下記、日本養鶏協会連絡先（担当：総務部／大塚）までご連絡ください。



日鶏協ニュース 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会  
 〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号馬事畜産会館内（5階）  
 TEL：(03)3297-5515 FAX：(03)3297-5519 発行日 2019年9月2日  
 編集・発行責任者：浅木 仁志(info@jpa.or.jp)

